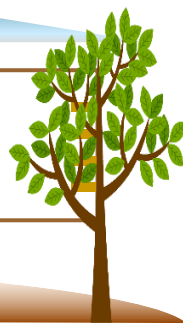


ぼちぼちいこか

学校だより3月号

2024.2.29 発行

教育理念
生きる喜びを抱き
自ら学びを拓く



「みえないもの」を表現

校長 大谷 京司



校門脇の河津桜が満開となりました。これは3期生が卒業記念樹として植えてくれたものです。毎年、きれいな花を咲かせてくれる桜も暖かさだけでは咲かず、冬の厳しい寒さが必要だということです。夏から秋にかけて大きく成長する花芽は冬にはいったんお休みに入るそうです。ゆっくり休んでいる時に、すごく寒い時期が来るとびっくりして目を覚まし、それから毎日の平均気温の合計が400度か最高気温の合計が600度になると開花するという時計仕掛けのような仕組みがあることから、開花予想もできるそうです。桜も見えない温度を樹全体で感じ、冬の寒さを刺激に大きく成長し、美しい花を咲かせるという形で表現しているのですね。初等学校の子どもたちも「七沢森の芸術祭」で、今年は「みえないもの」というテーマから様々なものを表現していました。

七沢森の芸術祭 2024.2.17(土)

5・6年生による威勢のよい和太鼓の演奏で始まったオープニング。続く1・2年生と3・4年生は絵本からイメージした音をグループごとに打楽器や鳴き声で表現していきました。



各コーナーのブースでは、炎、音、風の各縦割りグループが感覚や感情から、見えないものをどう表現したり体感したりすることができるのか考え、とてもユニークな展示や体験コーナーを創り上げました。



福笑い



自然を見て感じたことを葉っぱに



見えない文字にブラックライトを当てると…



手形でハート作り



巨大迷路



臭いを感じてもらおう

プロジェクト発表

昨年度より、芸術祭でポスターセッション方式で行ったプロジェクト発表。自分の問いに対する答えを見つける探究授業の一環として今年度も探究成果の発表および質疑応答を行いました。



1・2年生は学年で、3年生以上は個人で行いますが、テーマは実にさまざま。学校を戦国時代の城に見立て、地形的環境や建造物の構造から、攻められやすさや攻め



られた時の対策などを自分なりに考察しまとめたものなど、大人顔負けの発想で驚かされました。

学習計画の立案や学習方法については、まだまだ課題がありますが、自分の興味・関心に基づく自律した学習を今後も進めていきたいと考えています。



美しいハーモニカの音色にうっとり♪

芸術祭のフィナーレは、あつぎハーモニカ協会の「スマイルマミンカ」の皆さんによるハーモニカ演奏です。4種類の大きさも形も異なるハーモニカはそれぞれに音色に特徴があり、それが合わさった時のリズムカルで美しい演奏は見ても聞いても実に楽しくさわやかな気持ちにさせてくれました。

4曲目には「ラバースコンチェルト」を児童とセッションしていただき、リコーダーや打楽器との新たな組み合わせをみんなで楽しませていただきました。



東北東に向かって食べたよ！

2月3日(土)節分の日に「くらし」の授業で恵方巻を作りました。

どんど焼きで年神様を見送った東北東の方角を向いてみんな願い事を心の中で念じながら黙々と食



べました。

縦割りグループごとに作ったあさりのすまし汁や大豆の甘辛煮も子どもたちには大好評でした。



たこたこあがれ！

芸術祭終了後の午後は、1月に雨で中止となってしまった「親子ふれあいたこあげ大会」を七沢郵便局裏の広場をお借りして実施しました。

今年は、地域の「せんみ凧保存会」の三橋さんに凧作りの段階からご指導いただき、当日もあげ方のアドバイス等もいただきました。わずかな風でも勢いよくあがる凧もあり、子どもたちは、広場を縦横無尽に走り回って汗を流していました。

